

令和5年 7月 5日

## 2023年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人丸亀街づくり研究所  
ホーム名 自立援助ホーム 若者独立塾  
丸亀おひさま荘  
代表者・役職名 氏名 理事長 合木啓雄

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

子どもが安全で快適に生活する為の環境整備事業

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成23年8月設立。香川県丸亀市山北町にて若者独立塾 丸亀おひさま荘 開所。平成28年丸亀市土器町に移転。「いのちに寄り添い 心をつなぐ」の経営理念の元、自立援助ホーム2ヶ所、アフターケア事業所、アドボカシー事業所を展開しています。社会的養育において地域の子育てを支えてつながる支援を目指しています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

おひさま荘では一時保護、ショーステイで幼児、小学生の利用が多くあります。一日の大半はリビングで過ごします。経年劣化した畳や棧のささくれで棘が刺さる事故が続いたため、安全で快適に環境整備が必要でこの度申請致しました。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

丸亀おひさま荘

## \*リビング

- ・襖2枚(襖から板張りに変更)、・障子4枚改修(障子から板張りに変更)
- ・敷居改修(張替え、レール取り付け)
- ・和室床改修工事(畳から洋室、タイルカーペットに変更)
- ・壁穴開き改修(下地、クロス補修)

## \*居室

- ・壁改修(ベニヤから壁紙に変更)

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

工事が完成して新しくなったリビングは窓からの自然光で明るく、カーペットになったことで柔らかい印象になりました。ささくれがひどかった棧は凹凸の少ないレールに交換され、腰かけたり出来るようになりました。以前は寝転んだら畳のい草が衣服についていたのが解消されました。幼児用の居室に磁石の壁を取り入れたことで、遊びの幅が広がりました。この助成金に決定して頂き、環境整備が実現したことで子どもたちとスタッフ共々とても喜んでます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

施設内の今回実地に至らなかった経年劣化の箇所を今後どうしていくかが課題です。今後は、児童福祉法改正に伴う制度改正などに柔軟に対応して、それぞれの事業のさらなる可能性を広げていきたいと考えています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

